

公益社団法人 日本地下水学会
2018年度 第1回 理事会議事録

1. 開催日時：2018年4月21日（土） 13:30～18:30
2. 開催場所：日本工営(株) 九段オフィス 中庭棟4階 第1中会議室
〒102-0073 千代田区九段北1-14-1 九段坂上KSビル
3. 理事総数：15人

4. 出席理事数：13人 ○：出席、×：欠席

理事	伊藤 浩子	○	理事	蛭原 雅之	○
理事	小野寺 真一	○	理事	川端 淳一	○
理事	坂本 大	×	理事	白石 知成	○
理事	鈴木 弘明	○	理事	瀬尾 昭治	○
理事	竹内 真司	○	理事	谷口 真人	○
理事	徳永 朋祥	×	理事	中川 啓	○
理事	中島 誠	○	理事	古川 正修	○
理事	町田 功	○			

5. 出席監事数：2人 ○：出席、×：欠席

監事	平山 光信	○	監事	深田 園子	○
----	-------	---	----	-------	---

6. 議長の氏名：理事 谷口 真人

代表理事 谷口 真人は議長席につき、上記のとおり定足数にたる理事の出席があったので、13時30分本理事会の開会を宣した。

7. 代表理事の活動状況：

2018年4月6日に日本学術会議・地球人間圏科学分科会が開催され、委員として出席したとの報告があった。

8. 決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名：該当する理事はいない。

9. 議事録作成者：理事 古川 正修

10. 理事会資料

- 資料 1-1 : 2018年度 第1回理事会 議事次第
- 資料 1-2 : 地球人間圏科学夢ロードマップ案（日本学術会議・地球人間圏科学分科会）
- 資料 2-1 : 2017年度 第8回理事会議事録
- 資料 2-2 : 「2018年度事業計画書」の承認について

- 資料 2-3 : 修正可能書類通知書
- 資料 3 (2種) : 企画委員会資料
- 資料 4 (1種) : 行事委員会資料
- 資料 5 (2種) : 渉外委員会資料
- 資料 6 (1種) : 編集委員会資料
- 資料 7 (2種) : 調査・研究委員会資料
- 資料 8 (1種) : 市民コミュニケーション委員会資料
- 資料 9 (1種) : 広報・IT委員会資料
- 資料10 (3種) : 若手支援・男女共同参画委員会資料
- 資料11 (1種) : 技術者継続教育委員会資料
- 資料12 (1種) : 会計委員会資料
- 資料13 (欠番) : 表彰委員会資料
- 資料14 (10種) : 総務委員会資料
- 資料15 (1種) : 自治体関係

【審議事項】

第 1 号議案 : (資料2)

- ・ 2017年度第8回理事会において修正を行うこととなった「2018年度事業計画の事業計画(案)」について、修正内容のとおり修正が行われたことが確認され、本理事会前に承認されたことが報告された。今後は、議事次第に審議事項を明確にするとともに、的確な審議を進めるようにする意見が出された。

第 2 号議案 : (渉外委員会 : 資料5)

- ・ 代議員総会(2018年5月12日)後の意見交換会の議題とする夢ロードマップに関する資料「地下水学会の将来ビジョンについて」について、一部資料を修正・追加することとし、承認された。

第 3 号議案 : (若手支援・男女共同参画(YEPS) : 資料10)

- ・ 2018年度 若手地下水研究助成に関する「二次審査(ヒアリング審査)発表要領(案)」について、一部記述を削除することとし、承認された。

第 4 号議案 : (若手支援・男女共同参画(YEPS) : 資料10)

- ・ 若手会のメンバー増強を図るための“35歳以下の会員の全員参加”に関する提案についての審議は時期尚早であり、当面は若手の自主的な加入を促す取り組みについて、YEPS委員会にて検討することとなった。

第 5 号議案 : (会計 : 資料12)

- ・ 「2017年度決算報告(案)」について、承認された。

第 6 号議案 : (総務 : 資料14)

- ・ 「2017年度事業報告書(案)」について、承認された。

第7号議案：（総務：資料14）

- ・ 「2018年度名誉会員候補者」について、2名の名誉会員を候補者として推薦することが、承認された。

第8号議案：（総務：資料14）

- ・ 「受託研究取扱規程（改定案）」については、総務委員会にて再検討のうえ、次回理事会以降の審議事項とすることとなった。

第9号議案：（総務：資料14）

- ・ 「代議員総会での議案、報告事項（代議員総会議事次第（案））」について、一部資料を修正することとし、承認された。

第10号議案：（総務：資料14）

- ・ 「入退会員（2018年4月16日現在）」について、承認された。

【報告事項等】

1. 企画委員会（資料3）

企画委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ 2018年5月18日の開催を予定しているセミナー「山岳地域の水文地質学－世界の水源を供給する地下水の重要な役割－」の計画・準備状況および会告が報告された。
- ・ 2018年6月28日・29日の開催を予定している「現場調査（水文調査）講習会」の計画検討状況が報告された。
- ・ 2018年7月～8月の開催を予定している「地下水シミュレーション（移流分散）講習会」の計画検討状況が報告された。
- ・ 地下水に関する書籍出版について、前向きに検討することを企画委員会として決定し、検討を進めていることが報告された。
- ・ 地下水に関する教科書についてのアンケートを実施する予定で、準備を進めていることが報告された。
- ・ 企画委員会の開催状況が報告された。

2. 行事委員会（資料4）

行事委員長の代理として総務委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ 2018年春季講演会（2018年5月19日）について、プログラム案（一般講演発表（22編）、ポスター発表（10編））が報告された。
- ・ 2018年秋季講演会（平成30年10月25日～27日）について、特別講演は「松山市内の地下水について（愛媛大学 森脇先生）」と、別途、ポスターセッションでの西条高校による発表を予定していることが報告された。
- ・ 2019年春季講演会は千葉商科大、2019年秋季講演会は島根大学を検討中であることが報告された。
- ・ 第24回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会については、前回報告（2017年度第8

回理事会) どおりであることが報告された。

3. 渉外委員会 (資料 5)

渉外委員長より、以下の報告がなされた。

- HRL誌への学会誌の目次の挟み込みに関するHRL誌運営委員会への確認内容が報告された。
- JpGU夢ロードマップに関する関連学会の動向が報告された。

4. 編集委員会 (資料6)

編集委員長より、以下の報告がなされた。

- 第60巻2号 (5月号) の編集状況が報告された。(5月末発行)
- 自治体交流会 (安曇野市との意見交換会) 資料は、第60巻3号 (8月号) に編集される予定であることが報告された。
- J-stageにおける当学会誌の2018年3月時のアクセス数ランキング上位の状況が報告された。
- 第60巻3号 (8月号) では、若手ページの開始、地下水に関する科学研究費の採択状況の分析報告、誌面講座「現場新技術」の開始を検討していることが報告された。
- EMのマニュアル作成について検討していることが報告された。

5. 調査・研究委員会 (資料 7)

調査・研究委員長より、以下の報告がなされた。

- 地下水ガバナンス等に関する調査・研究グループの活動状況について、2018年2月18日にキックオフ会議が実施されたこと、春季講演会の「地下水ガバナンスセッション」の後に「主査・事務局会議」を実施する予定であることが報告された。
- 熊本地震対応調査・研究グループの活動状況について、2018年4月25日に第4回会議を実施する予定であり、また、2018年5月22日にJpGU 2018の水文・陸水・地下水学・水環境 (HW) のセッション A-HW24[JJ]「熊本地震に伴う地表水と地下水の変化」にてポスターセッションを、2018年5月23日にはJpGU 2018のユニオンセッション U-8「連合は環境・災害にどう向き合っていくのか？」で嶋田氏 (熊本大学) による発表 (タイトル: 2016年熊本地震が地域の地下水資源に与えた影響評価に対する日本地下水学会の取り組み) を予定していることが報告された。IAH 2018 Special session 提案「Effect of 2016 Kumamoto Earthquake (M7.3) to the local groundwater system」への発表については、グループメンバーに発表を呼びかけ中であることが報告された。
- 降雨浸透過程モデリングに関する研究委員会の活動状況が報告された。

6. 市民コミュニケーション委員会 (資料 8)

市民コミュニケーション委員長より、以下の報告がなされた。

- 2019年度の湧水めぐりについて、町田市を検討中であることが報告された。
- 湧水めぐりに関する補助金申請状況について、2件不採択 (地球環境基金、科研費)、1件応募 (公益信託エスベック地球環境研究・技術基金) を検討中であることが報告された。
- FAQについて、過去の質問と回答をまとめる作業を開始することが報告された。
- 絵本出版の対応について、2018年4月25日にバイインターナショナルと打合せを行うことが報告された。

7. 広報・IT委員会（資料9）

広報・IT委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ 学会 HP の「新着情報」の更新（随時）、2017 年度第 7 回議事録の掲載、2017 年度第 8 回議事録の掲載、「若手セミナー&セミナー「山岳地域の水文地質学」申込みフォームの作成を行ったことが報告された。
- ・ 学会 Facebook ページについて、学会総会前を目途に一般公開する予定であることが報告された。
- ・ 学会 HP へのアクセス状況について、総アクセス件数及びユーザー数は前年度（2016 年度）より増加している等の状況が報告された。

8. 若手支援・男女共同参画委員会（YEPS）

若手支援・男女共同参画委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ 「2018 年度 若手地下水研究助成」について、2 名の応募があったことが報告された。
- ・ 2018 年 5 月 18 日に開催予定の若手セミナー「海外留学や就職を目指す若手研究者のために一カナダでの体験談」の参加申し込み状況が報告された。
- ・ YEPS 委員会の活動状況が報告された。

9. 技術者継続教育委員会（資料 11）

技術者継続教育委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ ジオスケーリングネット掲載行事の状況について報告された。2018 年 5 月 18 日に開催予定の若手セミナー「海外留学や就職を目指す若手研究者のために一カナダでの体験談」（プログラム番号 2018-01d）、セミナー「山岳地域の水文地質学 ー世界の水源を供給する地下水の重要な役割ー」（プログラム番号 2018-04）をプログラム登録したこと、春季講演会については本理事会後に登録する予定であることが報告された。

10. 会計委員会（資料 12）

会計委員長より、以下の報告がなされた。

- ・ 2018 年 4 月 10 日に 2017 年度（第 8 期事業年度）の監査が行われたことが報告された。

11. 総務委員会（資料 14）

総務委員長より下記の報告がなされた。

- ・ 後援、共催等について、後援を 1 件（地盤工学会）、協賛を 1 件（地下水技術協会）、総務委員長判断で承認したことが報告された。
- ・ 次回理事会にて、“共催”の扱いについて審議事項とする予定であることが報告された。
- ・ 総務委員会の活動状況が報告された。

12. 自治体対応関係（資料 15）

蛭原理事より、以下の報告がなされた。

- ・ 大野市との意見交換会・見学会の候補日程について打診中であることが報告された。
- ・ 自治体交流会（安曇野市との意見交換会）資料は、第 60 巻 3 号（8 月号）に編集される予定であ

ることが報告された。(※編集委員会報告事項と同じ)

- ・ 安曇野市からの学会員向けの研究協力者の公募の状況について報告された。

以上をもって議事が終了したので、議長は18時30分閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名、押印する。

2018年5月12日

公益社団法人日本地下水学会 理事会